科目ナンバリング	G-LAS10 80019 LJ44						
授業科目名 <英訳>	外資系投資銀行ビジネス- 理論と実務 Investment Bank:Theories and Business Practices			担当者所属職名・氏名	経営管理大学院 教授 山田 忠史 経営管理大学院 特任教授 小林 潔司 経営管理大学院 特命教授 式部 透 経営管理大学院 特命教授 Bruno Gaussorgues 経営管理大学院 特命教授 島本 幸治		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	人文社会科学系		使用言語	日本語	
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	水4	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（経営管理大学院の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

外資系投資銀行が提供する金融サービスについて、その基礎的な経済理論にも触れながら、実務的な業務内容について講述するとともに、その社会的な意義について講義する。また、AIやブロックチェーンなど新たなデジタルテクノロジーが台頭するなか、世界の金融市場におけるファイナンスやデリバティブの潮流が如何に変容しているか、さらには気候変動リスクへの対応や脱炭素社会の推進など金融機関に求められる役割の変化が投資銀行の経営や実務に如何なる影響を及ぼしているかについても論じる。本授業では、金融市場や金融商品、経済分析などの各部門の専門家が解説する。

[到達目標]

グローバルに展開する投資銀行が果たす役割や実務的内容について理解を深める。

[授業計画と内容]

グローバル投資銀行の役割から先端的な金融サービスの潮流まで、幅広い内容を各分野の実務的な専門家が解説し、質疑応答を通じて理解を深める。講義の最後には簡単なテストも行う。（※の授業は英語による講義が含まれます。）

1 序論１－グローバル投資銀行と国内銀行の役割 ※
2 序論２－金融市場が経済に与える影響
3 株式市場ビジネスの実務と潮流
4 金融工学－市場における投資商品
5 ESG投資の現状と課題
6 デリバティブにおけるイノベーション
7 クレジットサイクルと機関投資家の動向
8 本邦金融機関と金融市場ビジネスの実態
9 中央銀行の金融政策と各国国債市場を巡る考察
10 金融機関とデリバティブの関わり
11 特別講義１－金融市場で無視される日本経済
12 特別講義２－ストラクチャードファイナンス
13 特別講義３－国際開発金融機関について
14 結論－グローバル投資銀行の未来 ※

外資系投資銀行ビジネス- 理論と実務(2)へ続く↓↓↓

外資系投資銀行ビジネス- 理論と実務(2)

[履修要件]

金融商品や金融業界に興味があること。

[成績評価の方法・観点]

テストは各クラスの最後に行う。評価は、1）出席率、2）ディスカッションへの参加の程度、および、3）テストの総得点に基づいて行う。

[教科書]

使用しない

[授業外学修（予習・復習）等]

後続のクラスをよりよく理解するために、各クラスでカバーされているトピックを、その都度復習すること。

[その他（オフィスアワー等）]

授業の数回を外国人講師が英語で行う予定である。その際、日本語でのサポートを行う。

連絡先：ソシエテ・ジェネラル寄附講義担当　浅田，友松
E-mail:
asada.fumika.2u@kyoto-u.ac.jp
tomomatu.tomoko.7h@kyoto-u.ac.jp